

5-3 教員及び職員の情報通信技術活用能力の研修

5-3-1 FDのための情報技術研究講習会

<事業計画>

私立大学における教員の教育技術力の向上を支援するため、全国の大学・短期大学を対象に「FDのための情報技術研究講習会」を学外FDとして実施する。アクティブ・ラーニングに必要なICTの活用法及び教育改善手段としてのICT活用技術の習得を目的として、事前・事後学修を徹底するためのLMS(ラーニングマネジメントシステム)、教員と学生、学生同士の対話環境作り、モバイルの活用、動画など視覚教材の作成、ALの授業マネジメントなどをアラカルト方式で参加者の希望に応じて実施するとともに、大人数授業におけるALの工夫、ICT活用教育を推進するための著作権法理解などの関連情報の提供、ICTを活用した授業体験を参加者全員に実施する。

<事業の実施結果>

「FD情報技術講習会運営委員会」を継続設置し、「FDのための情報技術研究講習会」を実施した。以下に委員会及び研究講習会の活動を報告する。

FD情報技術講習会運営委員会

平成30年10月25日、11月15日、平成31年2月13日に平均8名が出席して3回開催し、開催計画の策定、実施準備を行った。

(1) 開催要項の策定

分野共通で必要と思われるICTの活用方法及び教育改善手法の習得を目的に、私立大学教員の教育技術力向上を支援する学外FDとして開催する。

プログラムは、全体会でICTを用いた授業支援の体験、著作権の基礎知識を紹介し、教員が希望するアラカルト方式による9つのワークショップに分かれて、LMS、教材作成、授業マネジメントなどの知識理解から活用技術の獲得までを目指して、以下のように開催要項を策定した。

平成30年度FDのための情報技術研究講習会開催要項

1. 開催日程：平成31年2月26日(火)～27日(水)
2. 会場：追手門学院大学(大阪府茨木市)
3. 対象者：授業改善に情報通信技術の活用を希望される私立大学・短期大学教員
4. 講習会の概要

大学教育に、自ら学ぶ力、自ら考える力を育てるアクティブ・ラーニングが望まれて久しくなります。しかし、アクティブ・ラーニングに積極的に取り組む意識はあるものの、実際にどのように自分の授業の中で展開していくのか、その具体的な方法に戸惑う教員も少なくありません。

そこで、本研究講習会では、アクティブ・ラーニングを実現するために、分野共通で必要と思われるICT(情報通信技術)の活用方法および教育改善手法の習得を目的として、事前・事後学修を徹底するためのLMS、教員と学生・学生同士による対話環境を支援するツール、動画などの視覚教材、ICTを活用した授業マネジメントなどについて全体会とワークショップを設定しました。

【全体会】

- (1) 体験：「ICTを用いた授業の支援」
及川 義道 氏(東海大学教育開発研究センター次長、理学部教授)
- (2) 講演：「ICT活用と著作権の基礎知識」
中村 壽宏 氏(神奈川大学大学院法務研究科教授)

【ワークショップ】

ここでは、LMS、教材作成、モバイル活用の知識理解から情報技術の獲得を目指し

て、参加される先生それぞれの希望に応じたアラカルト方式で実施します。

(1) ワークショップ 1 「Google Classroom で授業を受けてみる (体験編)」

[コース内容]

Google Classroom が一般の Gmail 利用者にも開放されています。Web 上で誰でもクラスを作って教えたり、学修者として学んだりすることができます。課題や質問、資料など機能は限られますが無料で利用できます。ここでは、受講される先生方に学修者になっていただき、Classroom の機能を活用した模擬授業を受けていただきます。この体験を通してご自分の授業への活用の可能性を検討していただきます。

(2) ワークショップ 2 「LMS 基礎編 : LMS の基本操作」

[コース内容]

LMS (Learning Management System) は、学修支援を行うための便利なツールです。事前に資料を配布する、知識の修得状況を把握するなど予習の段階から、授業内での資料の提供、質疑応答、問題演習、授業後のレポート提出、小テスト、演習など、学修の様々な状況でオンラインによる支援が可能です。Moodle と呼ばれる LMS を用いて、このワークショップ用に準備したサンプルに、PDF 資料、討論、アンケート、課題提出などの情報を追加しながら、予習、授業、復習での利用方法の習得を目指します。

(3) ワークショップ 3 「モバイルによる教材作成」

(iPhone/iPad を用いたビデオ作成と YouTube 配信)

[コース内容]

近年、反転授業の事前学修、演習問題の解説、実習等のやり方の説明など、講義ビデオが活用される場面が増えてきました。最近では、モバイル端末を活用して簡単に講義ビデオを作成し、配信することが可能です。ここでは、「講義ビデオの基礎」や「授業での活用ポイント」について解説します。その後、iPhone または iPad を用いて講義ビデオを作成し、YouTube で配信するまでの実習を行います。

(4) ワークショップ 4 「Google Classroom で授業を始めてみる (基礎編)」

[コース内容]

授業では、学修者の反応を確かめながら進めたり、学修者同士の話し合いを重視したり、あらかじめ課題を出しておいて課外で学ばせたり、授業のまとめや定着を授業後に課外で行うなど様々な形態が考えられます。ここでは、Classroom で実際にクラスを作り、授業を構成する課題や質問、資料の登録方法を実習していただきます。これらの体験を通してご自分の授業形態にそった活用方法を検討していただきます。

(5) ワークショップ 5 「LMS 活用編 : レッスンとテストの作成」

[コース内容]

LMS による学修支援方法の一つとして、レッスンという方法があります。この方法では、「学修者への資料の提示」→「問題と選択肢の提示」→「選択肢に応じた資料の提示」を繰り返しながら、学修者ごとに適した情報を提供します。また、学修内容の確認や応用力養成のため、小テストを実施することがあります。ここでは、Moodle 上でレッスンや小テストを作成する基本操作の習得を目指します。レッスンの作成では、実際にいくつかの資料、問題を作成し、これらを連結して一つのレッスンを組み立てます。また、問題を組み合わせる小テストを構築する方法も実習します。

(6) ワークショップ 6 「動画教材の作成」

[コース内容]

近年、反転授業の事前学修、演習問題の解説、実習等のやり方の説明など、講義ビデオが活用される場面が増えてきました。ここでは、パワーポイントで作成した資料を動画として提供する方法、PC での画面キャプチャによる動画教材作成の方法について実習します。また、作成した動画教材を LMS や YouTube で利用する方法についても実習します。

(7) ワークショップ 7 「アクティブ・ラーニングで授業を進める」

[コース内容]

アクティブ・ラーニングで ICT を活用している事例を示し、様々な手法から効果的な方法を確認していきます。先生方の授業で求める成果と ICT の活用方法をグループで議論し、授業に取り入れることができるように進めます。多くの事例を参考にしながら進めますが、学修者が効果的に「考える力」や「思考力」を促進することも含めます。

(8) ワークショップ 8 「LMS 活用編：ループリックの作成」

[コース内容]

ここでは、ループリックとは何か、どのような場面で活用できるのか、ループリックの基礎について具体的なループリックの例を提示しながら解説します。その後で LMS(Moodle)の機能を活用して課題を評価する際のループリック作成を実習します。

(9) ワークショップ 9 「講義に生かす ICT ツール入門」

[コース内容]

ICT は、学生の学びをサポートできる有力なツールの一つです。しかし、実際にどのようなツールがあり、どんな場面で利用できるのかがわからず、使うことに二の足を踏んでいる教員が多いようです。ここでは、LMS 以外の授業に役立つさまざまな ICT について講義、実習を行います。講義では、目的別に Web 上で提供されている各種ツールについて解説します。実習では Google Forms、Kahoot などの投票ツールを用いた状況把握をはじめ、共有ホワイトボード・付箋ツール・マインドマップを用いた協働作業、ワードクラウドを用いた意見の集約と表示、Web タイマーによる発表時間の管理、スマホを用いたワイヤレスプレゼンテーションなどを体験します。

(2) 実施結果

平成 31 年 2 月 26 日から 27 日の 2 日間開催し、追手門学院大学を会場に、52 大学、1 短期大学、64 名の参加があった。以下にアンケートを踏まえた結果を報告する。

- ① 全体会では、ICT を活用して事前・事後学修、教室外での学修、教室内での資料提示、アンケートによる理解度把握、掲示板を活用した意見の共有・討議などの体験イメージを得る模擬授業、著作権の基礎から実際に授業で直面する著作権法に絡む問題や今後の法改正のポイントなどの情報提供を行った。

参加教員からは、「実際の手順を追って ICT 体験ができたのは良かった」、「授業は ICT の進化とともに改訂していかなくてはならないと感じた」、「著作権の認識が甘かったことがよく分かった」、「著作権は学内の講習会よりも分かりやすく参考になった」などの感想が寄せられた。

- ② ワorkshop は、「Google Classroom の活用」に 2 コマ、「LMS の活用」に 2 コマ、「動画教材の作成」に 2 コマ、「アクティブ・ラーニングのマネジメント」に 1 コマ、「ループリックの作成」に 1 コマ、「ICT ツール入門」に 1 コマを設定し、アラカルト方式で実施し、その達成度を以下に掲載する。

ワークショップ	達成できた	見通しがた った	達成できな かった
① Google Classroom の活用	3 割	7 割	
② LMS の活用	4 割	6 割	
③ 動画教材の作成	3 割強	6 割	1 人
④ アクティブ・ラーニングのマネジメント	3 割	7 割	
⑤ ループリックの作成	4 割	6 割	
⑥ ICT ツール入門	3 割	7 割弱	1 人

- ③ 「Google Classroom」は、活用を考えている参加者が多く、様々な機能を使うヒントが得られたことから、「常日頃から LMS に興味を持ち体験する気持ちを持つと思った」、「質問の作り方や授業での使い方が参考になった」、「新年度に向けて目途が立った」などの感想があった。

- ④ 「LMS」は、活用意識が高い参加者が多かったことから、「授業の中で様々な手法を取り入れたい」、「Moodle の使用範囲が習得できた」、「自大学の LMS は機能が少ないので応用が難しいことが残念」などの感想があった。

- ⑤ 「動画教材の作成」は、積極的に取り組む参加者が多かったことから、「思っていたより手軽に作れるので早速試してみたい」、「動画アップロードまでの疑問点が解決で

きた」、「動画の編集方法をもう少し知りたかった」などの感想があった。

- ⑥ 「アクティブ・ラーニングのマネジメント」は、医療系と基礎教育系に分かれて、それぞれの課題を解決する方策について意見を出し合うことで、「授業に直ぐ使えるようなICTを用いた改善策のヒントを得ることができた」、「今後学んでいく材料となった」などの感想があった。
- ⑦ 「ルーブリック」は、LMSを使った作成演習と意見交換を行ったことで、「ディスカッションで良い知見を得た」、「学外での活用を模索していたので活路が見出せた」などの感想があった。
- ⑧ 「ICT ツール入門」は、今年度の新設したコースで、共有ホワイトボード、マインドマップなどいくつかのソフトと活用方法を紹介したことで、「すぐ使えて役立つツールの紹介でありがたかった」、「ICT を使って授業を進めるアイデアは思い浮かばなかったが小テストができる気がしてきた」、「学生の理解促進のためツールを駆使して工夫していることがわかった」、「使いにくそうだが使いたいツールがあり、もっと練習したい」などの感想があった。



全体会



ワークショップ

